

今日、京響?

京都市交響楽団

第598回定期演奏会

The 598th Subscription Concert of
the Kyoto Symphony Orchestra

大友直人の自然讃歌

～エルガー、チェロ協奏曲 VS 今井信子～



エルガー：弦楽セレナード ホ短調op.20

エルガー：チェロ協奏曲ホ短調op.85 (ヴィオラ版)

ドヴォルザーク：交響曲第8番ト長調op.88

Elgar: Serenade for strings in E minor op.20

Elgar: Concerto for violoncello and orchestra in E minor op.85 (Arr. for viola)

Dvořák: Symphony No.8 in G major op.88

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 & 後半券 S ¥2,000 A ¥1,500 B ¥1,000

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売
(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき 1,000円 / 2016年2月5日までに京響 075-711-3110 へお申し込みください)
- ◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- ・京都コンサートホール (075) 711-3231 (ホームページからオンラインチケット購入もできます)
- ・チケットぴあ (0570) 02-9999 Pコード 248-310
- ・ローソンチケット (0570) 000-407 Lコード 58638

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 711-3110
▶ <http://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231
▶ <http://www.kyoto-ongeiun.jp/kyotoconcerthall/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



助成 文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社トルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

Kyoto Symphony Orchestra

2016 2/14日

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

Sunday, February 14, 2016 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前(午後2時10分ごろから)は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。



指揮：大友 直人 (桂冠指揮者)

Conductor: Naoto OTOMO (Conductor Laureate)

©Rowland Kirishima

ヴィオラ：今井 信子

Viola: Nobuko IMAI

©Marco Borggreve

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

RoHM Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



2016.1.10 OPEN
ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

京都市交響楽団 第598回定期演奏会

The 598th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

京響桂冠指揮者の大友直人が、故国の自然を賛美したドヴォルザークの交響曲第8番を指揮します。随所に現れる美しい旋律にドヴォルザークの愛国心を感じずにはられません。共演はヴィオリストの今井信子。古希を過ぎた氏を選んだのはエルガーの協奏曲（原曲：チェロ協奏曲）。彼の最後の傑作ともいえるこの作品に、円熟期を迎えたひとりの演奏家が向き合います。

指揮 大友 直人 (桂冠指揮者)

Conductor : Naoto OTOMO (Conductor Laureate)

現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、これまでにコロラド交響楽団、インディアナポリス交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団などに招かれ、2012年3月にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、以降定期的に客演し、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演、絶賛を博す。2013年にはエネスク国際音楽祭に招かれ「弦楽八重奏op.7」を演奏。“繰り返し演奏されているが、今回の演奏は最高の演奏”“日本のオーケストラ演奏が西洋音楽への新しい希望を見出した。”と評され、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。オペラにも力を入れており、1988年日生劇場における『魔弾の射手』でのオペラデビュー以来、オペラの指揮も高く評価されている。特に、2006年8月にプッチーニ音楽祭にて三枝成彰作曲オペラ『Jr.バタフライ』（2014年にも同音楽祭で再演）や、2013年1月には千住明作曲新作オペラ『滝の白糸』を指揮し、大きな話題となった。クラシックと他のジャンルとのコラボレーションによる新たな音楽シーンを発信しており、既成のジャンルや表現形式に捉われない新しい形の舞台芸術をプロデュースするなど、音楽プロデューサーとしても新しい音楽シーンを牽引している。教育的活動にも力を注ぎ、国際音楽セミナー「ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン」を盟友である指揮者アラン・ギルバートと毎年開催するなど、活発な活動を行っている。2000年第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2008年第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。



©Rowland Kirishima

ヴィオラ 今井 信子

Viola : Nobuko IMAI

桐朋学園大学卒業、イエール大学大学院、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン、1968年ジュネーヴ両国際コンクールで最高位入賞。1970年西ドイツ音楽功労賞受賞。ベルリン・フィル定期や小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラとのザルツブルク音楽祭出演など、世界の舞台上で活躍を続けている。武満徹のヴィオラ協奏曲<ア・ストリング・アラウンド・オータム>など世界初演も多い。室内楽も積極的に行っており、これまでにアルゲリッチ、シフ、クレメール、マイスキーら世界の名手と共演。マルボロ、ラヴィニア、ヴェルビエ等世界各地の音楽祭にも頻りに招かれている。2003年にはミケランジェロ弦楽四重奏団を結成、カルテットのメンバーとしても積極的な活動を展開している。日本では、1987年より東京カザルスホールの音楽アドバイザーを務めたほか、<カザルスホール・アンサンブル>、<ヴィオラスペース>などの企画・演奏に携わる。このほか東京、ロンドン、ニューヨークの3都市で開催された「インターナショナル・ヒンデミット・ヴィオラ・フェスティバル」音楽監督、日蘭交流400周年を記念する数々の企画のプロデュース、武生国際音楽祭の音楽アドバイザー、東京国際ヴィオラコンクール審査委員長など、常にヴィオラ界をリードする存在として、めざましい活躍を続けている。2011年4月よりザ・フェニックスホール音楽アドバイザー。フィリップス、BIS、グラモフォン等から40以上のCDをリリース。著書に『憧れ ヴィオラとともに』（春秋社）がある。これまでにエイボン女性芸術賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞、京都音楽賞、モービル音楽賞、毎日芸術賞、サントリー音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章受章。アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院、上野学園大学で後進の指導も行っている。



©Marco Borggreve

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2010～13年広上淳一指揮の定期演奏会ライブ録音CD「名曲ライブシリーズ」を3枚リリース。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」及び広上淳一と京響で「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には、広上淳一指揮のもと、18年ぶりのヨーロッパ公演を開催して成功を収め、2016年の創立60周年という節目に向け、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進を図っている。



2015 12/26(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

第599回定期演奏会

日時：2016年3月12日(土) 午後2時30分開演

2016年3月13日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

運命の打撃、高関健のマーラー“悲劇的”

指揮：高関 健（常任首席客演指揮者）

曲目：マーラー：交響曲第6番イ短調「悲劇的」

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000（舞台後方席）



©Masahide Sato